

登山学校～事故 ZERO リーダー研修コース(第一回)～

【報告者】E入、Y澤

【日時】2016年5月6日、7日 【天候】曇り/雨

【参加者】マサ（講師）、I藤（準講師）※7日のみ参加、T・K（運営委員）、E入、Y澤

《コースタイム》

（1日目：開校式）

10:30 南関町 B&G 海洋センター開校式・ロープワーク→15:30 濃施山公園へ移動、テント設営→16:00 ロープワーク→19:00 装備解説→21:00 懇親会

（2日目：実践講習1）

7:30 B&G へ移動→8:30 ファーストエイド、クライミング装備、確保理論→午後 ビレイ、懸垂下降講習→17:00 MTG→18:00 終了

《 報 告 》

<1日目>（報告：E入）

初日の午前中は南関町 B&G 海洋センターで開校式でした。今年度は講師 11 名、準講師 6 名、運営委員 4 名、受講生 16 名、合計 37 名の大所帯だそうです。

午前中、冒頭で木下講師が、一年間学んでいくにあたっての心構え等をお話されていました。県連の事故に関して何か知っているか尋ねられた時、受講生が誰も答えられずにいると、その状態が事故に繋がるのだと仰っていたことが強く印象に残っています。事故を起こさない心構えや知識、技術をこの 1 年間で学び、実践するためにも、まずは習った事を 1 つ 1 つ確実に覚えていきたいと思います。

……と、言うのは簡単ですが、その後ロープワークの実習に入ると、次々にロープの扱い方や結び方や登場して、無知の私には息切れしそうで。何の為の結び方なのかなど理解しないまま、とりあえず、ひたすら話についていくのみでした。

午後は屋外でアンカー構築等の講習をしてから 16 時頃、濃施山公園に移動。テント設営の説明を受け、設営後に再び、プルージックや、マスト、半マスト等を習いました。夜は懇親会でしたが、色んな山岳会の方々との交流はとても貴重な時間でした。

講師の方々も熱心で親切で、こんな素晴らしい環境で学ばせていただけることに感謝しています。今後の講習も実践に入っていくと思うと不安ではありますが、楽しみでもあります。次回は学んだ事についてより理解を深めて、1 年後に事故ゼロで修了できるよう頑張りたいと思います。

< 2日目 > (報告 : Y 澤)

①感想

「こんなに真剣に趣味を極めている人達がいるのか！」これが初めて登山学校に参加した、私の実感です。朝から晩までストイックに理論やロープワークを学び、夜はお酒とおつまみで意見交換会(飲み会)をこれまた遅くまで行う。なかなかハードなスケジュールをこなしていく受講生も講師陣もタフであり、山に対する真剣さや山への愛が感じられました。

講師の木下先生は塾の先生を生業にしているため、教え方が理論的で分かり易かったです。また他の山岳会の方々と知り合うことができ、刺激的でした。個性的な面々の講師陣を筆頭に、同世代の山好きな女性もいれば、ご年配の方も多く参加されていて、若輩者の私たちは夜の飲み会でおつまみが山盛りになる等、非常に可愛がってもらえました。

また、他山岳会から見たピナクルの印象を聞くことも多かったです。自己紹介の際に所属山岳会はピナクルである旨を伝えると、「じゃあすごくクライミングやるんですよ。」「岩が好きなのね。」等と言われることが多く、ピナクルはクライミングを極めている、若手が多いフレッシュな会というイメージがある様です。

②学んだ内容

2日目の講習ではファーストエイド、クライミング装備、確保理論、ラッペル、クライミングシステムについて学びました。

特に難しかったのが、前日の理論をふまえたシステム構築の練習です。私はクライミングを全くやったことがないので、初めて学ぶことばかりでした。セルフ確保やビレイの方法、ATC ガイドの使い方など安全を確保するために大切な理論なのでたくさん復習して、実践で使って、慣れていきたいです。



左：懸垂下降のお手本を見せる T・K 先生と安全確保する E 入さん